

## 第 6 回 北海道地方交通審議会船員部会 議事概要

開 催 年 月 日 平成 2 1 年 3 月 2 4 日 ( 火 )

開 催 場 所 北海道運輸局小樽庁舎 3 F 会議室

### 議 題

#### 1 . 審議事項

- ( 1 ) 管内船員職業安定業務取扱状況 ( 平成 21 年 2 月分 ) について
- ( 2 ) 離職四法に基づく減船離職船員現況調べについて
- ( 3 ) 離職四法に基づく求職手帳発給数及び支給実績について

#### 2 . 報告事項

- ( 1 ) 船員法改正のポイントについて

#### 3 . その他

- ( 1 ) 情報交換
- ( 2 ) 次回の船員部会開催日について

### 議事概要

#### 1 . 審議事項

- ・平成 21 年 2 月分の管内船員職業安定業務取扱状況、離職四法に基づく減船離職船員現況調べ、求職手帳発給数及び支給実績について事務局より説明し、承認された。

#### 2 . 報告事項

- ・運輸局担当課から、船員法改正のポイントについて説明があり、労働者委員より、1 日 6 時間以上の連続休息、健康証明書の所持規定について質疑があった。

#### 3 . その他 ( 情報交換等 )

- ・労働者委員より、3 月 6 日に開催した「海員中央総決起集会」は、目標を大幅に上回る千名以上の参加を得て「フェリー・旅客船存続」「港町活性化」を決議し、衆参議長、政党等への陳情活動を行なった旨の報告と、一連の活動として道知事、道内各自治体首長あての陳情活動を展開中との報告があった。
- ・運輸局より、「大間 - 函館航路のあり方検討会」が終了し、「船型 ( トン数 ) 等による運航形態の検討」「観光活性化を図り、人流の増加による航路維持」の 2 つの方向性が示され、具体的な方策については、平成 21 年度から新たに設置される予定の協議会において、航路維持を目指して議論されることとなった旨の報告があった。

( 以 上 )